

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 1 月 26 日作成)

小委員会名	感覚・知覚心理小委員会	主 査 名：土田 義郎 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (環境心理生理運営委員会)	委員長名：羽山 広文 主 査 名：西名 大作
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・心理・生理分野の多様な研究成果を会員に向けて発信する。</p> <p>(1) シンポジウムを開催し、テーマに沿った議論を深める。発表者、聴講者の研究推進に寄与するとともに、実社会へ活用できる知見の社会的な発信を図る。</p> <p>(2) 実験手法や評価法に関する研究会を開催する。初学者の研究推進に役立てるとともに、心理生理的研究の底上げを図る。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査：土田義郎 (金沢工業大学)</p> <p>幹事：光田 恵 (大同大学)      竹村明久 (摂南大学)</p> <p>委員：松原斎樹 (京都府立大学)      山中俊夫 (大阪大学)      西名大作 (広島大学)</p> <p>         梅宮典子 (大阪市立大学)      澤島智明 (佐賀大学)      秋田 剛 (東京電機大学)</p> <p>         原田昌幸 (名古屋市立大学)      宮本征一 (摂南大学)      合掌 顕 (岐阜大学)</p> <p>         原 直也 (関西大学)      竹原広実 (京都ノートルダム女子大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>萌芽探索 WG：小委員会に属さない若手も含めて組織し、研究サーベ이를定常的に行う。研究者のすそ野を広げ、学会をけん引する人材を育成する。</p> <p>評価・実験法 WG：小委員会に属さない若手も含めて組織し、研究手法に関するサーベいを実施する。</p>	
2016 年度予算	115,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	<p>1. 心理生理のフロンティアを語る (第 4 回)</p> <p>ひかりとまちのコラボレーション これからの夜間景観を創造する</p> <p style="text-align: right;">参加者数 28 名</p>
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 2 月にシンポジウムを開催したため「シンポジウムを開催し、テーマに沿った議論を深める。発表者、聴講者の研究推進に寄与するとともに、実社会へ活用できる知見の社会的な発信を図る。」という目的は達せられると考えられる。</p> <p>2. 委員会の日程に合わせて毎回 1～2 名の研究紹介を行ったので、「実験手法や評価法に関する研究会を開催する。初学者の研究推進に役立てるとともに、心理生理的研究の底上げを図る。」という目的はかなり達成したと考えられる。</p>
委員会活動の問題点・課題	順調に推移したため特に大きな問題はない。

## 2016 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>本委員会では、建築環境工学の音・光・熱・空気等の各分野とその関連する分野を横断的に俯瞰することを主たる活動内容としている。これまで、人間の感覚・知覚に対して心理学的手法を用いる研究成果に関わるシンポジウムを開催し、分野をまたがる研究交流を行ってきた。これは前身の心理生理のフロンティア小委員会から継続的に行ってきた。</p> <p>2015 年から 2016 年度にかけて、当委員会の主催としてシンポジウムは 3 回開催（予定も含む）している。開催済のシンポジウムはどれも盛況であり、活発な交流を行うことができたと考えている。これらから、委員会の目標はほぼ達成していると考えた。</p> <p>なお、本委員会は来年度以降も主査と一部の委員を交代した上で、継続することが決まっている。一層の研究交流を期待したい。</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。